

レポート課題（フィールドワーク課題）

社会文化学科

レポート課題（フィールドワーク課題）作成要領

1. レポート課題（フィールドワーク課題）のねらい

社会文化学科では、総合型選抜試験の受験者が、本学科のアドミッション・ポリシーのうち「沖縄を理解するための知的的好奇心と知的探求心をもつ人物」「沖縄をとりまく社会や文化の動きに深い興味と関心をもつ人物」および「自らの問題意識のもと、フィールドに出て積極的に情報を集め考え判断し、主体的に行動することができる人物」と適合しているかを判断し、「思考力・判断力・表現力」および「主体性・多様性・協調性」が高校での学習を通じてどのくらい修得されたのかを確認するために、レポート課題（フィールドワーク課題）を課します。

すでに公開されている評価基準にも明記している通り、このレポート課題は総合型選抜試験の 900 点の評価のうち 300 点分に相当します。したがって、この課題だけが優れていても合格に至るということはありません。また、面接の時にもレポート課題の内容に関する質問を行いますので、文章でうまく表現できなかったことでも、口頭できちんと説明できるように準備してください。

2. レポート課題（フィールドワーク課題）の内容について

あなたにとって、沖縄に関するもっとも印象深いできごとをひとつ挙げ、下記の内容に沿ってまとめてください。

- (1) そのできごとを選んだ理由
- (2) そのできごとの概要
- (3) そのできごとについて身の周りの人にインタビューした内容
- (4) 上記(1)から(3)を踏まえての、そのできごとに対するあなたの見解

3. レポート課題（フィールドワーク課題）の条件について

- (1) レポート課題はPC作成でも、手書きでも構いませんが、A4用紙を使用してください。
- (2) レポート課題を提出するときには、指定様式の表紙（入試情報サイトからダウンロード）をつけて、ダブルクリップで留めて提出してください。
- (3) レポート課題にはタイトルをつけてください。
- (4) レポート課題を作成するときに参照した文献や Web サイトは、最後に一覧にして記載してください。
- (5) レポート課題の枚数（ページ数）および文字の大きさ、写真等の数に制限は設けませんが、レポート課題を含めた出願書類一式の郵送には、必ず本学所定の出願用封筒を使用してください。
- (6) 新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、できる範囲のなかでフィールドワークに取り組んでください。例えば、高齢者等への聞き取りは、無理に行わなくても構いません。

4. 面接時の留意点

レポート課題（フィールドワーク課題）のコピー持参を認めます。ただし、この課題は提出時に完成していることが前提であるため、加筆・修正を加えたレポートへと差替えること、追加の資料配布などは認めません。実演・パフォーマンス等による自己アピールの有無は受験者の判断に委ねます。作品等による自己アピールをする場合は、作品を持参してください。ただし、作品等が大きすぎたり、重すぎたりする場合、あるいは複数あるため持ち運びが困難な場合は、作品等の写真や画像データをプリントアウトする等で代用してください。

※音の出る実演・パフォーマンス等については他の面接室に配慮するようにしてください。

※新型コロナウイルス感染防止対策を鑑み、歌や踊りをはじめとする、感染リスクを高めうるパフォーマンスについては実演以外の方法によるアピールを求めます。

注意事項

- ※ 課題はPC作成でも、手書きでも構わないが、A4用紙を使用すること。
- ※ 課題を提出するときは、指定様式の表紙を入試情報サイトからダウンロードし、記入のうえ課題につけて、ダブルクリップで留めて提出すること。
- ※ 課題にはタイトルをつけること。
- ※ 課題が複数ページになる場合は、ページ「ページ数／総ページ数」を右下に記入すること。また、ダブルクリップがとれた場合に備え、すべてのページ右上に名前を記入すること。

2022 年度総合型選抜試験 (A・B日程共通)

レポート課題 (フィールドワーク課題) 表紙

社会文化学科

フリガナ		生年月日 (西暦)
志願者名		年 月 日生

レポート課題の最初に、この表紙をつけて縦置き左綴じ (ダブルクリップ 2 か所留め) で出願書類に同封すること。

タイトル	
------	--

在籍(出身) 高 校	
居 住 市 町 村	
提出課題 総ページ数	枚 (表紙を含めて)、総ページ数 ページ

(ダブルクリップ位置)

※A4用紙で印刷すること。

(ダブルクリップ位置)